

「自動スイッチングシステム」

日本民間放送連盟賞技術部門 優秀賞受賞

株式会社テレビ朝日(本社:東京都港区、代表取締役社長 篠塚 浩、以下 テレビ朝日)の開発した「自動スイッチングシステム」が 2023 年度日本民間放送連盟賞技術部門において、優秀賞を受賞しました。本システムは MPTA AWARDS 2023 技術開発奨励賞、映像情報メディア学会 技術振興賞 進歩開発賞(現場運用部門)も受賞しています。

自動スイッチングシステムは、複数台のカメラ映像を切り替えるスイッチャーの業務を自動化するシステムです。マイクに入力された音声から話者を特定し、更に AI を用いて顔の動きや表情を分析しリアクションを検知します。これらのデータを熟練のスイッチャー経験者のノウハウを元に開発したアルゴリズムと組み合わせ、自然なスイッチングを実現しています。本システムによりスイッチャーレスのコンテンツ制作が可能となり、人員数やコスト面で DX 化が求められる番組、配信コンテンツ、ウェビナーなどで幅広い活用が期待できます。また、今後も機能面の強化を目指し開発を継続していく予定です。



自動スイッチングシステム使用事例

■バラバラ大作戦 「ソレいる？六本木会議」



カメラ 6 台分の映像データを本番終了後に編集していましたが、本システムを導入する事で編集作業を大幅に短縮しました。

■ABEMA NEWS



定時ニュースのトークコーナー(カメラ 3 台、出演者 2 名)で使用しました。

今後もテレビ朝日は「すべての価値の源泉はコンテンツにある」という基本理念のもと、最新技術をコンテンツ制作に取り入れ、価値向上に努めてまいります。

■本リリースに関するお問い合わせ先
株式会社テレビ朝日 広報部